

昭和八年十二月二十六日

福岡市外箱崎町
九州帝國大學工學部

土木教室

吉田弘道 殿

西田 精

拝啓 土木部 佐伯 先生の書翰 (圖面) 拝見 是れに付 甚だお慰
見申上。

- 一、計書の順序を地区附の計書書を通うべき区及れも 消火
水量が兼入し さまか如く 之れを非常なる 敷設者あり
今時小雨と消火栓の数を大伴人口 区域収束物の種類
其他を標榜とあるが、公法を便用出来るか何れあるも未だ
相者の水量の見込ませるからぞ
- 二、計書書 第三枚目の III 表 第五区 摘要の全 200 は 250 の誤り
- 三、第四区 擴張東幹線の (2) の結果 誤りあるか 兩調さ
若し水に誤りあるは、之れを先ず 巨部が 誤りあるべし
- 四、第五区 既設西幹線の水人口合計の誤りあるか

西田 精 教授の書簡

書簡の日付が昭和8年12月26日からすると、第二期拡張工事への助言と思われる。第二期工事は雑賀町から北進して新大橋を越えて南北田町方面に送水する工事であった。松江市は、水道拡張の際にはいつも西田の助力を仰いだ (松江市誌)。